

学外コースにおけるマリンプログラムとしてのヨット授業の実践

○上野直紀（いわき明星大学）
 鈴木秀雄（関東学院大学）
 五十嵐幸一（いわき明星大学）

キーワード：マリンプログラム、シーマンシップ、ヨット授業、自然活動

1. はじめに

学外コース“ヨット”が体育実技の中に設置されているのが、“自然に親しみ、集団生活を通して人間性の育成と体力の保持、増進及び関連技術の向上を図る”ことを目的としている。

大型クルーザー（全長12.16m、幅3.96m、排水量13トン）であるヨットの活用は、現代社会に最も必要であろう自然活動を媒介にして強靱な心身と人間性の育成を図る視点から導入された。毎年4泊5日でこのクルーザーヨットを用いて学外コースが実施されている。

開設当初は募集45名（毎回15名、3回実施）に238名の応募があり、ヨットコースへの高い関心が示された。学外コース使用艇には、GPS受信機、レーダー、天気Fax、NNS（衛星航法）、アマチュア無線機、船舶電話、ナブテックス受信機が装備され、外洋航海も可能である充実した機能と構造を有している。事実、1985年（昭和60年）、太平洋を8000kmを走破した実績を持つクルーザーヨットである。

海洋という大自然の中で波風に耐える体力や主体的に行動できる生活態度を養うことを大きな目的とし、船舶通信等に関する科学的な知識や技術、そして、シーマンシップを身につけていくために実践的なヨットの学外コースが準備されているのである。

ヨット実習はひとつの家族のような絆に結ばれての共同生活であり、運命共同体のような形態を有している。活動の中で海に親しむことを通して、自然に対する敬虔な精神、的確な判断力、機敏な処置、創意工夫、勇気、協調性、リーダーシップ等、キャンパスでは得がたい多くの体験や実践を学外コースによって提供しているのである。

2. 実践活動の内容

学内で実施される事前授業では、基本的なロープワーク、船位の出し方や読み方、帆走の仕方、アンカーリングの理論、クルーの心得、船体内部・外部・機関等に関する各点検法、航海計器の取扱い、事故防止や安全確保の詳細を学ぶ。それは、一人の不注意や単純ミスがクルー全員の生死にかかわる問題を生起することになるからである。

事前授業で配布される膨大な資料に学生はただ驚くばかりであるが、しかし、真剣に理論を学んでいる。このように事前授業によってクルージングに必要な知識が蓄積されていく。

開講式では、学生は緊張そのものの顔である。初めての乗船体験も同様である。ナイトプログラムとしての講義では、ヨット気象、海のマナー、ロープワークの仕方等の学習がなされる。翌日の航海日誌の記入の仕方等の勉強も行うのである。翌日の航海に備えての食料調達作業は、毎日行われる。クルージングに重要な事項である天気図を読み、明日の予想天気を各自が考え、予期することも大切である。日毎に気象条件が異なるので安全なクルージングのためにも一番神経を使うところである。

実習中は定員23名に及ぶというヨットの大きさに驚き、また、仕事量にも驚きを実感する学生が多い。また、乗船初期には予想以上の“船酔い”に苦しみ、楽しいはずであるクルージングに失望する学生もみられるが、次第に船上活動にも慣れ、爽快なクルージングを体験

してくるに従い、学外コースにおけるマリンプログラムとしての実践に一層の関心を寄せてくる。波、風、潮流等の中で初めてのセーリングに戸惑い悩んでいたが、しかし、海の美しさや雄大さ、きびしさも分かってくると、自分自身が抱えている諸問題を解決していくためには、自らが主体的に動かなければ、ヨットは目的地に着かないことを身を持って知る。海象の変化を理解し、風を読むことにより、繰船できるようになり、実習の終わりごろには、繰船を通して各自がタックやジャイブ等の確な判断をするようになり、機敏な処置をおこなえるようになってくる。

総合航海前夜は、学生の手で海図を引き、目標通過点をコンパス、三角定規で見定めるなど多くの海洋での役割分担も人間交流を通してスムーズになる。

本年度で学外コースとしてのヨット授業も10年目となり、延べ603名が積極的に参加した。体育実技の一環として実施されている生涯スポーツ及びレジャー・レクリエーション活動を教科として実施されている4泊5日、27コースの学外コースとしてのヨット授業である。ヨットを活用したマリンプログラムの充実は、学生への教育的な効果が明らかとなり、さらに1987年（昭和62年）、1991年（平成3年）にヨット授業のさらなる発展のために2艇（ともに全長15.5m、定員23名）を購入し、ヨット授業展開が飛躍的に行われることとなった。（海洋（マリンプログラム）ヨット授業 実践カリキュラム－資料Ⅱ）

3. 実践報告

風ひとつにしても、無風状態、強風状態、セーリングに好都合の状態等、日々、天候との闘いである。どのようなマリンプログラムであっても、ひとたび海が荒れると全てがそれに対応したプログラムへと動いていく。そこに自然への対応能力を身につけなければならない際だったシーマンシップが必要になってくる。

大自然の前に、人間の力がいかに小さなものであるか、しかし、またそれ故にこそ、一人ひとりが力を合わせて大自然に挑戦し、さまざまな困難に打ち勝つてゆくすばらしさを知るのである。このように、ヨット実習を多角的に楽しむことにより、シーマンシップが生まれるのである。

人と人が関係を通じて人と自然の交流を学ぶのである。

クルーが、分析力、決断力とリーダーシップを持ち、メインセールに青春の夢と理想を思い切りぶつけ実践カリキュラムで意図されたヨット授業を行うのである。

海のすばらしさ、海をヨットで走るすばらしさの中で、風をうまくとらえるタイミング、ヨットが思う方向に行かない時の機転の働かせ方を学ぶことが今後のあらゆる人生にも大いにプラスになると考える。

苦しさで心が揺れ、その中から感動が生まれてくるのが伝わってくる。体験が人を変え、感動が人を理解するきっかけを提供してくれるのである。実践活動内容についてはスライドプレゼンテーションを行う。

〈参考文献〉

- 鈴木 秀雄 「生涯スポーツの意味(The Meaning of Life Integrated Sports)」
『日本大学体育学研究』第25集 1991年3月
- 上野 直紀・鈴木 秀雄 「シーズンコース“ヨット授業”参加学生の意識調査」
第40回 日本体育学会 1989年10月
- 上野 直紀・鈴木 秀雄 「レジャー及び生涯スポーツとしての海洋講座」
第23回 日本レジャー・レクリエーション学会 1993年10月
- 上野 直紀・鈴木 秀雄・五十嵐幸一 「大学におけるレジャー教育・生涯スポーツとしてのヨット」
第24回 日本レジャー・レクリエーション学会 1994年9月

<資料Ⅱ> 生涯スポーツとしての海洋講座(マリンプログラム)～大学におけるヨットコースの実施年次概要～

回数	開催年度	実施期間	コース人員の 総数(男・女)	実施海域	主な気象状況	カリキュラム 使用艇	カリキュラム 使用艇
1	昭和 61年度 (1986年)	8/4(月)～8/8(金)	15(8,7)	湖南・相模湾 (佐島マリーナ)	台風通過、快晴	エコー号	エコー号
		8/11(月)～8/15(金)	15(8,7)		快晴、濃霧		
		8/18(月)～8/22(金)	15(8,7)		台風、雨、霧		
2	昭和 62年度 (1987年)	8/3(月)～8/7(金)	15(8,7)	湖南・相模湾 (佐島マリーナ)	台風、雨	エコー号 メイセイ号	エコー号 メイセイ号
		8/10(月)～8/14(金)	15(8,7)		快晴		
		8/17(月)～8/21(金)	15(8,7)		快晴		
3	昭和 63年度 (1988年)	8/2(火)～8/6(土)	16(8,8)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	快晴	エコー号 メイセイ号	エコー号 メイセイ号
		8/8(月)～8/12(金)	16(8,8)		雨		
4	平成 元年度 (1989年)	8/13(土)～8/17(水)	16(8,8)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	晴	エコー号 エコーII世号 メイセイ号	エコー号 エコーII世号 メイセイ号
		8/1(月)～8/5(土)	30(15,15)		台風通過、快晴、濃霧		
5	平成 2年度 (1990年)	8/7(月)～8/11(金)	30(15,15)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	台風通過、快晴、濃霧	エコー号 エコーII世号 メイセイ号	エコー号 エコーII世号 メイセイ号
		8/12(土)～8/16(水)	15(8,7)		快晴		
6	平成 3年度 (1991年)	7/30(月)～8/4(土)	30(15,15)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	快晴、台風接近	エコー号 エコーII世号 メイセイ号	エコー号 エコーII世号 メイセイ号
		8/6(月)～8/10(金)	30(15,15)		台風通過、雨、快晴		
7	平成 4年度 (1992年)	8/11(土)～8/15(水)	15(8,7)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	快晴、濃霧	エコー号 メイセイ号	エコー号 メイセイ号
		7/30(火)～8/3(土)	20(10,10)		快晴、ヨット日和り		
8	平成 5年度 (1993年)	8/5(月)～8/9(金)	20(10,10)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	荒天、強風	エコーII世号 メイセイ号	エコーII世号 メイセイ号
		8/10(土)～8/14(水)	20(10,10)		晴天、強風		
9	平成 6年度 (1994年)	8/3(月)～8/7(金)	30(15,15)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	快晴	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号
		8/8(土)～8/12(水)	30(15,15)		台風通過、雨、快晴、無風		
10	平成 7年度 (1995年)	8/13(木)～8/17(月)	30(15,15)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	快晴、濃霧	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号
		8/2(月)～8/6(金)	30(15,15)		雨、くもり、晴		
9	平成 6年度 (1994年)	8/9(月)～8/13(金)	30(15,15)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	強風、雨、晴	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号
		8/14(土)～8/18(水)	30(15,15)		強風、くもり、雨、晴		
10	平成 7年度 (1995年)	8/19(木)～8/23(月)	30(15,15)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	快晴、微風	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号
		8/1(月)～8/5(金)	30(15,15)		快晴、無風		
9	平成 6年度 (1994年)	8/8(月)～8/12(金)	30(15,15)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	快晴、微風	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号
		8/13(土)～8/17(水)	30(15,15)		快晴、強風、微風		
10	平成 7年度 (1995年)	8/1(火)～8/5(土)	30(15,15)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	快晴、強風、微風	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号
		8/7(月)～8/11(金)	30(15,15)		快晴、強風、微風		
10	平成 7年度 (1995年)	8/12(土)～8/16(水)	30(15,15)	小名浜周辺海域 (福島県いわき市)	快晴、強風、微風	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号	エコーII世号 エコー3世号 メイセイ号
		8/12(土)～8/16(水)	30(15,15)		快晴、強風、微風		